

(様式例第11)

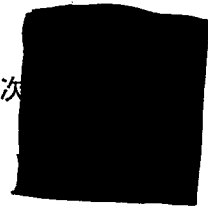
取扱課	経由機関名	経由第 169 号
医療政策課長殿	古河保健所 (扱)	平成29年10月31日

古病社第 30 号
平成29年10月 4日

茨城県知事 殿
(古河保健所長 殿)



住 所 茨城県古河市下山町1150
 申請者 氏 名 古河赤十字病院
 院長 篠田 宗次



古河赤十字病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成28年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒 310-0914 茨城県水戸市小吹町2551
氏名	日本赤十字社茨城県支部 支部長 橋本 昌

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

古河赤十字病院

3 所在の場所

〒306-0014 茨城県古河市下山町1150	電話 (0280) 23-7111
-------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	2床	床	床	198床	200床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 救急蘇生装置 (気管内挿管セット、人工呼吸装置) 病床数 4床 除細動器、心電図、ポータブルエックス線撮影装置
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動免疫測定装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液ガス分析装置、自動血球計数装置、遠心機
細菌検査室	(主な設備) 安全キャビネット、顕微鏡
病理検査室	(主な設備) クリオスタット、自動固定包埋装置、自動染色装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、解剖器械セット
研究室	(主な設備) パソコン、プロジェクター
講義室	室数 1室 収容定員 20人
図書室	室数 1室 蔵書数 515冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) XXXXXXXXXX (救急車1、患者搬送1) 保有台数 2台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 13.47 m ² [共用室の場合] 室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	56.4%	算定期間	28年 4月 1日～ 29年 3月 31日
地域医療支援病院逆紹介率	83.9%		
算出根拠	A：紹介患者の数		4,646人
	B：初診患者の数		8,236人
	C：逆紹介患者の数		6,914人

- (注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。
- (注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	本間 寿美子	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 副院長(内科)
2	医師	勝木 孝明	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 副院長(循内)
3	医師	近藤 泰雄	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 副院長(外科)
4	医師	大橋 明	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 消化器内科部長
5	医師	青木 弘貴	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 循環器内科部長
6	医師	森嶋 計	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 外科部長
7	医師	山田 武	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 脳神経外科部長
8	医師	大野 弥	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 整形外科部長
9	医師	黒田 雅大	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 リハビリテーション部長
10	医師	中島 尚美	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 小児科部長
11	医師	横田 法子	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 眼科部長
12	医師	遠藤 眞一	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 泌尿器科部長
13	医師	加瀬 幸子	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 麻酔科部長
14	医師	津田 直哉	常勤 非常勤	専従 非専従	8:30~16:40 健診部部長

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	8床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
3A	43.08㎡	(主な設備)	可
3B	43.08㎡	(主な設備)	可
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	

4 備考

二次救急医療機関

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
 既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,632人 (766人)
上記以外の救急患者の数	5,271人 (1,559人)
合計	6,903人 (2,325人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

(共同利用対象施設名)	(利用した医療機関述べ件数)	(開設者との関係のない医療機関の述べ件数)
CT室	342件	342件
MRI室	549件	549件
(共同利用に係る病床)	(病床利用率)	
5床	0%	

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- 1) 共同利用病棟数 : 5床
- 2) 共同利用機器類 : エックス線撮影装置、コンピューター断層撮影装置、磁気共鳴断層装置、心臓血管カテーテル装置、体外衝撃波結石破碎装置、超音波断層装置、内視鏡検査装置、骨密度測定装置
- 3) 共同利用対象施設 : 会議室、研究室、図書室、救急処置室、放射線科、CT室、MRI室、アンギオ室、結石破碎室、超音波室、内視鏡室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名: [REDACTED]

職 種: [REDACTED]

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別添のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙研修プログラムのとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	36回
(2) (1) の合計研修者数	870人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
本間 寿美子	医師	内科	副院長	37年	教育責任者
勝木 孝明	医師	循環器内科	副院長	36年	
近藤 泰雄	医師	外科	副院長	31年	
大橋 明	医師	消化器内科	部長	32年	
山田 武	医師	脳神経外科	部長	35年	
大野 弥	医師	整形外科	部長	32年	
中島 尚美	医師	小児科	部長	21年	
横田 法子	医師	眼科	部長	39年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
図書室	14.21㎡	(主な設備) パソコン
会議室 1	46.78㎡	(主な設備) スクリーン、放送設備、固定プロジェクター
会議室 2	52.07㎡	(主な設備) スクリーン、放送設備、移動プロジェクター
会議室 3	55.06㎡	(主な設備) スクリーン、放送設備、移動プロジェクター
	㎡	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	████████████████████
管理担当者氏名	████████████████████

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医事課	書面及びデータ 紙カルテ（外来）：5年で廃棄 紙カルテ（入院）：10年で廃棄 平成22年5月より電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	書面及びデータ
	救急医療の提供の実績	医事課	書面及びデータ
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	書面及びデータ
	閲覧実績	地域医療連携室	書面及びデータ
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	書面及びデータ

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	████████████████████
閲覧担当者氏名	████████████████████
閲覧の求めに応じる場所	研究室
閲覧の手続の概要	
別添のとおり	


前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
1) 運営委員会委員長及び副委員長の選出について 2) 古河赤十字病院の概要について 3) 地域医療支援病院の運営について 4) 古河赤十字病院に対する意見・要望等について 5) その他		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・ <u>相談室</u> ・ <u>その他</u> (地域医療連携室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	
患者相談件数	5,230件
患者相談の概要	
相談内容 : 対策等 1. 家族関係に関する事 : 家族間の意見相違によるトラブル解決等 2. 在宅介護・地域生活に関する事 : 介護保険の申請・利用・ケアマネの調整等 3. 療養生活に関する事 : 訪問診療、訪問看護、在宅介護支援、介護機器等の依頼 4. 経済的問題に関する事 : 障害者医療費助成金制度等の説明、生活福祉課との調整 5. 受診・受療に関する事 : かかりつけ医等との連絡調整 6. 転院に関する事 : 患者、家族が転院について理解されているか確認 転院先との調整及び確認	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
評価に向け準備中 (平成 29 年度予定)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
広報誌、ホームページ等	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要	
地域医療連携室	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容	
・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み	
2 種類 ・脳卒中パス、大腿骨頸部骨折パス	
連携病院との定期報告会の開催	

共同診療・医療機器の共同利用等運営規程

(目的)

第1条 本規程は、古河赤十字病院（以下「当院」という。）と地域の医師との共同診療・医療機器の共同利用等の運営にかかる事項を定める。

(共同診療病床の設置)

第2条 病院は、地域の中核病院として急性期を中心とした医療を担うとともに、地域医療の向上に資するため、「5床」を共同診療病床として設置する。

(連携医療機関)

第3条 共同診療病床を利用する医療機関は、「古河赤十字病院地域医療連携推進要領」に基づき、連携医療機関として登録した医療機関とする。

(共同診療)

第4条 診療は共同診療とし、主治医は連携医療機関医師と当院担当医師があたる。

- 2 連携医療機関医師の診療は、原則として病院の診療日の平日8時30分から17時までの間に行うものとするが、緊急の場合はこの限りではない。
- 3 診療に際しては、連携医療機関医師は事前に当院担当医に連絡のうえ、連携して診療を行うものとし、当院担当医師又は担当看護師を同行して行うものとする。
- 4 診療に際しては、診療時間及び診療記録を診療録に記載し、治療については当院担当医と相談して行い、原則として直接指示は行わないものとする。

(診療責任)

第5条 入院中の共同診療に係る患者の治療及び管理は、病院の責任において行うものとする。

(入院及び退院)

第6条 患者の入院及び退院は、連携医療機関医師と当院担当医師が協議のうえ決定する。

- 2 入院は、連携医療機関医師が事前に紹介状により当院担当医師の了解を得た後行うものとする。
- 3 退院にあたっては、当院担当医師は連携医療機関医師と「退院の時期及び治療方針」を協議したうえで決定する。

(医療機器の共同利用)

第7条 連携医療機関医師は、病院が保有する高額医療機器を共同利用することができる。

- 2 前項の共同利用は、当院担当医師と連携のうえ利用する。

(症例検討会等への参加)

第8条 連携医療機関医師は、必要に応じ当院が行う症例検討会・研修会・講演会等に参加し、又は当院から必要な情報の提供を受けることができる。

2 病院は、前項の開催日程その他必要な事項を連携医療機関に周知するよう努めなければならない。

(診療報酬)

第9条 共同診療に係る患者の入院中の診療報酬は、病院に帰属するものとする。

2 連携医療機関医師は、当院担当医師と連携のうえ当院において療養上又は退院に際して必要な指導を行った場合は、開放型病院共同指導料（I）を1日につき1回算定できる。

3 この場合、連携医療機関医師は自医療機関の診療録に開放型病院において患者の指導等を行った事実を記載し、当院の診療録には連携医療機関医師の指導等が行われた旨を記載する。

4 診療報酬については、診療報酬点数表による。

(診療録等の取扱)

第10条 連携医療機関医師は、共同診療にかかる患者の診療録について、当院内で閲覧をすることとし、当院外への持ち出しはできない。

2 画像は、当院担当医の了解を得、CDまたはDVDに出力し提供できることとする。

(その他)

第11条 本規程に定めるもののほか運営に関し必要な事項は、「地域医療支援病院運営委員会」により決定する。

附則

1 本規程は、平成27年 6月 1日から適用する。

診療情報の提供に関する取扱

(目的)

第1条 古河赤十字病院（以下「当院」という。）は、診療情報を積極的に提供することにより、患者と診療情報を共有し、相互に信頼関係を保ちながら、より質の高い開かれた医療を目指すことを目的とする。

(提供する医療情報の範囲)

第2条 当院が提供する診療情報の範囲は、診療録、看護記録、処方内容、検査記録、検査結果報告書、エックス線写真等患者の診療を目的として当院が作成した全ての記録（以下「診療記録」という。）とする。

ただし、他の医療機関の医師からの紹介状等第三者が作成した情報又は第三者から得た情報及び診療に伴う教育・研究に関する情報は、当院の診療録に記載されているものを除き、提供する診療情報の範囲に含まないものとする。

(診療情報の提供対象者)

第3条 診療情報の提供は、次に定める者とする。

ただし、提供することにより患者及び第三者の不利益となる場合は、提供しないことがある。

- 1 患者本人を原則とする。
- 2 患者本人から同意を得た患者の家族
家族の範囲は、当該患者の父母、配偶者及び子とする。
- 3 患者が未成年者若しくは禁治産者である場合は法定代理人
ただし、本人が満15才以上の未成年者の場合は本人の同意を得るものとするほか疾病の内容により本人のみの請求を認める。
- 4 遺族に対する診療情報の提供範囲は、患者の配偶者、子、父母（これらのものに法定代理人がいる場合の法定代理人含む）、親族

(診療情報の提供方法等)

第4条 診療情報の提供を受けようとする者は、申請者の住所、氏名（自署及び押印）、生年月日、提供を受けたい部分（以下「申出書」という。別紙様式1）により当院の院長に申請するものとし申請窓口は医事課長とする。

- 2 受理した申出書は、診療情報の範囲及び提供する対象者が適正等を検討・確認し、その結果を院長に報告し、速やかに別紙様式3の「開示等申出の個人情報に係る措置結果通知書」により申請者に通知するものとする。
- 3 診療情報の提供は、当院が指定する場合において行ない、職員の立ち会いの下に閲覧を原則とするが、診療記録に代わる客観的文書（要約）を作成して交付する等、実状に合った方法による提供も差し支えないものとする。
患者からの求めがあれば、主治医（又は診療科部長）はその記載内容について説明するものとする。
- 4 個人情報の秘密保持の観点から申出者に対し、自己の責任において、当該情報の管理を慎

重に行うよう注意を喚起する。

- 5 第3条の4に記載された者が開示を診療録等の開示を申請する場合には、別紙様式2の委任状を要する。

(診療情報を提供しないことができる場合)

第5条 診療情報が次のいずれかに該当する場合は、当該診療情報の提供をしないことができるものとする。患者の求めに応じ提供するという原則の中での例外であるので、画一的判断をすることなく、一部の提供を含めて、委員会において、あくまでも個人的に慎重な判断を行うこととする。

- 1 法令に違反することとなる場合
- 2 本人又は第三者の生命、身体又は財産その他の権利利益を害するおそれがあるとき
- 3 日本赤十字社の業務の実施に著しい支障を及ぼすおそれがあるとき
- 4 第三者から得た情報で、当該第三者の了解を得られないとき

(診療情報提供の管理について)

第6条 診療情報の提供が適切に行われるように、診療情報管理委員会において定期的な管理を行う。

(その他)

第7条 この取扱に基づき、診療情報の提供するに当たり発生した運用上の問題点・改廃等については、診療情報管理委員会で検討し、適宜この取扱の見直しを行うものとする。

付則 この取扱は平成12年10月1日から施行する。

平成16年5月1日 一部改正

平成17年6月1日 一部改正

平成24年4月1日 一部改正

平成27年4月1日 一部改正

診療情報提供委員会規定

(目的)

第1条 古河赤十字病院における「診療録等の開示」を適正に実施することを目的とする。

(委員会の設置)

第2条 前条の目的を達成するため、診療情報提供委員会（以下「委員会」という。）を設け、必要な事項を調査、審議するものとする。

(委員の構成)

第3条 委員長は、病院長が任命する。

2 委員は、以下の者とする。

(委員長) 副院長・事務部長・看護部長・各診療科部長・師長(1名)・放射線技術課長
検査技術課長・総務課長・医事課長

3 委員長は、必要と認めるとき、他の職員を委員会に出席させることができる。

(委員会の開催)

第4条 診療情報提供の申出があり提供することに異議が生じたときに開催する。

2 定例会は年2回以上実施する

(審議事項)

第5条 委員会は、以下の事項を審議する。

1 診療録等の開示請求が妥当か否かを審議する。

2 診療録等に記載してある内容を確認し、当該診療録等に関する者から意見を聴取して、次のことを決定する。

(1) 情報提供の可否

(2) 部分提供または不提供の場合はその理由

(3) 情報提供の日時、場所

(4) 情報提供時立ち会い者

(5) その他必要事項

(報告)

第6条 委員長は、診療情報提供の経過及び結果を速やかに病院長へ報告する。

付則

この規定は、平成17年 6月 1日から施行する。

診療情報提供委員会は、平成24年4月1日から診療録委員会に統合する。

個人情報の開示・訂正・追加・削除申出書

古河赤十字病院 御中

平成 年 月 日

【申出者】 ※請求者が本人でない場合は、別紙様式2の委任状を記入してください。

家族または親類の方は、さらに血縁関係を示す戸籍謄本（全部事項証明）が必要です

氏名	Ⓜ
生年月日	〒 ー
住所	_____ _____
電話番号	ー
Eメール	ー
住所のフリガナ	

【開示対象の患者様】

氏名	
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日
住所	_____ _____

古河赤十字病院の保有する私の個人情報について、次のとおり開示・追加・訂正・削除を申し出ます。

開示・訂正・追加・削除の範囲	診療録（カルテ）・画像情報・その他（ ）
開示の目的	開示 ・ 訂正 ・ 追加 ・ 削除
開示希望の範囲	
追加・訂正・削除の理由	

*病院使用欄

本人の住所	運転免許証・健康保険証・パスポート・登記事項証明書 （法律事務所等の場合）・その他（ ）
担当部署	医事課 担当者名
備考	

委任状

(代理人) 住所

氏名 ①

生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生

委任者との関係 ()

私は、上記の者を代理人と定め、下記事項についての権限を委任します。

(委任事項)

私に関する診療情報等の謄写・閲覧などの提供を申請し受領する件について

平成 年 月 日

(委任者) 住所

氏名 ①

生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生

注 委任状のほかに、代理人様の証明書及び患者様と代理人様との関係を証明するものの提出を求めることがあります。

開示等申出の個人情報に係る措置結果通知書

(開示等申出者)

様

古河赤十字病院
院長

平成 年 月 日付でお申出のありました貴方の個人情報について、次のとおり措置することになりましたのでお知らせします。

個人情報の名称等	
開示・追加・訂正・ 削除の区分	開示・訂正・追加・削除
開示 措置の内容	1. 開示とします。 2. 不開示とします。 3. 該当文書は存在しません。
開示実施方法	1. 閲覧・視聴 2. 写しの交付 3. 写しの送付
開示実施日時 および場所	日時：平成 年 月 日 午前・午後 時 分 場所：
開示しない理由	
追加	1. 申出のとおり追加します。 2. 追加しません。理由は下記のとおりです。
追加しない理由	
訂正	1. 申出のとおり訂正します。 2. 訂正しません。理由は下記のとおりです。
訂正しない理由	
削除	1. 申出のとおり削除します。 2. 削除しません。理由は下記のとおりです。
削除しない理由	
担当部署	課名： 担当者：

診療情報提供事務処理要領

(趣 旨)

この要領は、診療情報の提供に関する取扱方針に基づき、古河赤十字病院における診療情報の提供に関する事務処理について、必要な事項を定めるものとする。

(診療情報提供申請の受付)

診療情報の提供を申請するものは、医事課受付窓口にて個人情報の開示申出書（別紙様式1）を提出する。

情報提供書が提出された場合は、申請者が本人または法定代理人であるかについて、運転免許書、旅券、健康保健等の被保険者証、国民年金手帳、厚生年金手帳、戸籍謄本などの提供を受け確認し、受理する。

(提供の決定)

情報提供申請を受理した場合は、開示の可否（一部開示を含む）について、診療情報提供に関する取扱」の規定に基づきすすめる。

診療情報提供の判断は、申請書の受理から15日以内とする。ただし、特別な事由により期限内に診療情報提供の判断ができないときは、その期間を延長することができる。その場合は、その旨申請者に通知する。

診療情報提供決定は、別紙様式3により申請者に通知する。

(提供の方法)

診療情報を提供する場合は、本人又は法定代理人であるかについて確認する。

診療情報の提供方法は「閲覧」を原則とし、申請に基づき写しの交付を行う。（削除）提供に係る手数料及び謄写等の交付を行う場合は、次に定める費用を納入する。

区 分		費 用 (税 別)
申 請 手 数 料		1,000円
複 写 用 紙		1枚につき 30円
X線 写真等	半切 (1枚)	半切 1,000円
	B4サイズ	B4サイズ 800円
面談 (15分以内)		3,000円
そ の 他		実 費

費用の納入は、医事課の発行する納入告知書により病院会計窓口にて納入する。

謄写等の発行は、費用の納入の後に行う。

(その他)

この要領に定めのない事項については、別途定めるところによる。

(付 則)

この要領は、平成12年10月 1日から施行する。

平成15年 1月 1日から施行する。

平成17年 6月 1日から施行する。

診療記録開示状況

平成28年度

診療科 月	総合 内科	循環器 内科	消化器 内科	腎臓 内科	内分泌 糖尿病 科	呼吸器 内科	神経 内科	血液 内科	アレルギー リウマ チ科	小児科	外科	整形 外科	形成 外科	脳神経 外科	泌尿 器科	眼科	麻酔科	皮膚科	耳鼻科	婦人科	合計
4月												1									1
5月											2			1							3
6月												2				1					3
7月						1						2		1							4
8月			1											1							3
9月												2				1					3
10月																					0
11月												1									2
12月			1								1										2
1月						1					1	1									3
2月																	1				1
3月																					1
合計	0	2	2	1	0	2	0	0	0	0	4	9	0	3	1	1	1	0	0	0	26

注………1件の申請で複数科の受診科履歴があった場合は、主科でカウント

H28年度 地域医療支援病院 研修会開催状況

	開催日	開催時間	研 修 会 名 称	院外参加 人数	院内参加 人数
1	2016/4/11	19:00～20:00	好酸球性気管支炎を診る	5	15
2	2016/4/27	19:00～20:30	ネキシウム市販後調査結果(EUS観察の基本と臨床・EUSガイド下治療基本)	4	15
3	2016/6/21	19:00～20:00	日常生活動作(ADL)への目配りのポイント		21
4	2016/6/28	19:00～20:00	いまさら聞けない DVT/PTEの基本	4	10
5	2016/7/19	19:30～21:00	エキスパートに学ぶ内視鏡治療最前線	3	
6	2016/8/5	19:00～20:00	明日から活かせる糖尿病治療セミナー	3	
7	2016/9/9	19:00～20:00	VTE(静脈血栓塞栓症)セミナー「癌と血栓症」消化器癌におけるVTEリスクマネジメント」	3	
8	2016/9/26	19:00～20:30	認知症と骨粗鬆症		18
9	2016/10/11	19:00～20:30	認知症の診療～ご本人らしさを保つために～認知症の非薬物療法と予防		116
10	2016/10/24	18:00～19:00	奮闘する 地域連携室！～これから求められる地域連携室の姿とは～	4	4
11	2016/10/26	19:00～20:30	2型糖尿病のトータルマネージメント		25
12	2016/11/9	19:00～20:30	「地域包括ケア病棟」をどう活かすか？		11
13	2016/11/16	19:00～20:00	慢性咳嗽をセイエンスからどう診るか	6	3
14	2016/11/17	16:00～17:00	「院内感染管理の実践」～標準予防策と血液感染～		4
15	2016/11/22	12:30～14:00	「糖尿病と認知症」		47
16	2016/11/29	19:00～19:55	「アコチアシドの症状改善メカニズム」 「残存する上腹部症状における治療戦略」		4
17	2016/11/30	19:00～20:00	半固形剤による栄養管理 ～安定した在宅療養のためには～		8
18	2016/12/9	19:00～20:30	冠動脈疾患診療における病診連携の重要性		34
19	2017/12/19	17:15～18:15	「前立腺がん薬物治療による副作用とその対策」 「泌尿器科外来看護師の前立腺がん患者さんへの支援 ～チーム医療につなぐ～」	27	18
20	2016/12/15	19:00～20:00	「エビデンスから考えるフォシーガへの期待 ～心血管病抑制を目指して～」		6
21	2017/1/23	19:00～20:30	実臨床からみた認知症の諸問題と対策を考える		29
22	2017/1/24	18:00～19:30	「急性期病院連携室スタッフの立場からみた地域連携の 取り組みと役割、今後の展望について」 「医師会連携室スタッフの立場からみた地域連携の 取り組みと今後の展望について」	10	8
23	2017/2/6	19:00～20:15	京都胃炎分類とH. Pylori未感染・除菌後胃がん	7	5
24	2017/2/7	13:10～13:30	2016年麻疹集団発生事例から学ぶ		3
25	2017/2/8	18:25～20:00	地域の医療提供体制を考える ～大都市と地方都市の視点から～	20	10
26	2017/2/22	17:00～18:50	RA看護実践する上で必要な理論-RA診療における看護の 実践		6
27	2017/3/2	19:00～19:40	新規抗てんかん薬 ビムバットへの期待 ～1st add onで処方する薬剤として～		5
28	2017/3/10	18:30～19:45	医療安全から見た睡眠薬と転倒・転落		26
29	2017/3/13	19:00～20:05	明日から活かせる糖尿病治療セミナー		9
30	2017/3/29	18:30～20:30	介護者側に立った認知症治療を考える		39
				96	499
					595

	開催年月日	対象者	受講者数	内容(講師名等)
1	6月21日	医師・コメディカル	26名	認知症利用の実態～日常生活動作(ADL)への未記りのポイント～
2	8月26日	医師・コメディカル	18名	「認知症と骨粗鬆症」
3	10月11日	医師・コメディカル	116名	第6回認知症疾患フォーラム「認知症の診療～ご本人らしさを保つために～」
4	11月22日	医師・コメディカル	47名	「糖尿病と認知症」
5	1月23日	医師・コメディカル	29名	「実臨床からみた認知症の諸問題と対策を考える～自動車運転・免許更新の問題を中心に～」
6	3月29日	医師・コメディカル	39名	「介護者側に立った認知症治療を考える」

(2)他主催の研修会等への参加(講師・助言者・受講者として参加した者の数)

	開催年月日	研修会名	講師・助言者・受講者の別	講師・助言者・受講者として参加した者の数	内容
	4月26日	T-CARE	受講者	1名	在宅医療
7	6月19日	船橋市地域ケア研究会定例勉強会	講師	1名	「認知症でお困りなら～認知症疾患医療センターとは～」
	6月14日	エーザイ勉強会	受講者	5名	「VSRAD advance 2に関する解析結果」
	7月11日	平成28年度第2回市町村認知症担当者研修会	受講者	1名	「認知症ケアアップデートの取り組みについて」・「大牟田市における認知症対策について」
	7月13日	県西認知症カンファランス	受講者	3名	「抗認知症薬使用による介護負担の軽減」・「認知症へのこれからのアプローチ」
	8月26日	つくば市認知症学術講演会	受講者	1名	「判断に苦慮する認知症の対応」・「認知症における最近の話題～病態と治療におけるトピックス～」
	8月30日	いばらき認知症ネットワーク	受講者	1名	「石岡市認知症初期集中支援チームの現状と課題」
8	9月21日	「認知症研修会」	講師	1名	「認知症疾患医療センターについて」
	11月5日	第7回 関東脳神経外科認知症研究会	受講者	1名	「明日から役立つ認知症診療のコツ」
9	11月14日	第2回 茨城脳神経認知症フォーラム	講師	1名	「当センターでの認知症例規程～図画像を用いて～」
	11月20日	全国認知症疾患医療センター 群馬県大会	受講者	1名	「認知症疾患医療センターの現状と課題」
	12月9日	平成28年度 第9回在宅医療・介護連携推進における研究会	受講者	1名	「在宅における歯科連携、高齢者における嚥下機能・口腔ケア」
10	1月20日	ケアマネージャー連絡会しもつま研修会	講師	1名	「認知症と精神疾患の違い～抗認知症薬とかかりつけ医との連携～」
	1月20日	いばらき認知症ネットワーク	受講者	1名	「改正道路交通法について」
	1月25日	第3回つくば認知症ネットワーク講演会	受講者	2名	「日立市認知症初期集中支援チームの活動について」
11	1月31日	平成28年度 茨城県権利擁護推進員養成研修	講師	1名	認知症高齢者の医学的理解
12	2月22日	船橋市ケアマネージャー連絡協議会研修会	講師	2名	「もの忘れ外来の今を通して学ぶ認知症」・「認知症について」
	3月16日	道路交法一部改正に伴う診断書内容等に係る研修会	受講者	1名	「認知症高齢者の運転免許更新に関する診断書作成について」

(別記3)

登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
梅田内科クリニック	梅田 進	古河市旭町1-13-5	内科・小児科	なし
遠藤医院	(医) 遠藤医院	古河市本町2-14-1	内科・小児科・循環器科・婦人科	なし
大垣耳鼻咽喉科	(医) 大垣耳鼻咽喉科	古河市雷電町10-21	耳鼻咽喉科	なし
太田内科糖尿病内科	(医) 左山会	古河市中心街2-2-18	内科・消化器内科 糖尿病内科	なし
おかざき眼科皮膚科	(医) 悠生会	古河市本町4-11-6	眼科・皮膚科	なし
医療法人共助会おぐらメンタルクリニック	(医) 共助会	古河市中心街1-5-1	精神科・神経科・心療内科	なし
医療法人川島眼科	(医) 川島眼科	古河市本町1-3-45	眼科	なし
木村耳鼻咽喉科医院	(医) 木村耳鼻咽喉科医院	古河市横山町1-10-33	耳鼻咽喉科	なし
げやきクリニック	矢澤 克之	古河市坂間409-1	内科・整形外科	なし
古河市福祉の森診療所	古河市長	古河市新久田271-1	内科・外科・リハビリ科	なし
こだま皮膚科	小玉 裕子	古河市緑町54-33	皮膚科	なし
腰塚医院	腰塚 史朗	古河市鶴巣599	内科・外科・消化器科・循環器科	なし
小林医院	小林 泰彦	古河市本町3-1-33	内科・消化器科・循環器科	なし
小柳クリニック	(医) 慈政会	古河市東本町4-2-2	内科・精神科・神経内科・診療内科	なし
斉藤皮膚科医院	斉藤 明	古河市横山町3-4-1	皮膚科	なし
佐賀小児科医院	佐賀 哲	古河市長谷町1-11	内科・小児科・アレルギー科	なし
佐賀整形外科医院	佐賀 烈	古河市長谷町20-7	整形外科・リウマチ科・リハビリ科	なし
三省堂耳鼻咽喉科医院	牧山 縁	古河市中心街1-8-35	耳鼻科	なし
しばさきクリニック	芝崎 一郎	古河市中心街1-2-30	内科・外科・整形外科	なし
さくらい医院	(医) 櫻樹会	古河市旭町1-2-17	皮膚科	なし
田中医院	(医) 田中医院	古河市錦町5-3	内科・消化器科	なし
塚原耳鼻咽喉科医院	塚原 圭子	古河市本町1-2-37	耳鼻咽喉科	なし
医療法人 愛仁会 利根川橋クリニック	(医) 愛仁会	古河市中田1690	内科・消化器科・外科・皮膚科・泌尿器科・リハビリ科	なし

医療法人 賢友会 長島外科 西村外科	(医) 賢友会 西村 泰彦	古河市本町1-9-15 古河市本町2-5-10	内科・消化器科・外 科・整形外科 内科・消化器科・リ ウマチ科・外科・整 形外科・皮膚科・こ う門科	なし なし
医療法人 浩悦会 はまだクリニック	(医) 浩悦会	古河市坂間185-11	内科・神経内科・脳 神経外科・リハビリ 科	なし
はやし整形外科ク リニック	(医) はやし整形外 科	古河市東本町4-2-2 小柳メディカルビ ル3F	リウマチ科・整形外 科・リハビリ科	なし
東斎藤眼科 ファミリー診療所	(医) 恒志会 (医) 百一会	古河市東3-3-16 古河市静町25-15	眼科 内科・神経内科	なし なし
前沢内科医院	前沢 宏忠	古河市東2-13-22	内科・呼吸器・循環 器	なし
松永外科医院	松永 弘之	古河市東本町 3-15-36	内科・消化器科・外 科・整形外科・皮膚 科	なし
山口医院	(医) 嘉祥会 理事 長 加藤 國美	古河市中田新田147	内科・消化器科・外 科・こう門科・放射 線科	なし
山中医院	(医) 啓山会 理事 長 山中 啓子	古河市東1-7-11	内科・呼吸器科・消 化器科・循環器科・ 小児科・放射線科	なし
社会福祉法人 寿 貢会 わたらせ 石井内科クリニッ ク	(社福) 寿貢会 わ たらせ 石井 和義	古河市大山507-5 古河市大堤120-1	整形外科 内科・呼吸器科	なし なし
いたばし糖尿病内 科皮フ科クリニッ ク	医療法人 恵樹会	古河市東牛谷815-1	内科・皮膚科	なし
梅田医院	梅田 潤一郎	古河市久能1018-4	内科・消化器科・小 児科・外科・整形外 科・皮膚科・リハビ リ科	なし
岡田クリニック	岡田 創	古河市下大野2854	内科・消化器科・小 児科・外科・こう門 科・リハビリ科	なし
かとう耳鼻咽喉科 クリニック	加藤 修	古河市下大野 2917-1	耳鼻咽喉科	なし
かわまた眼科医院	(医) 社団冥和会	古河市上辺見 2063-8	眼科	なし
医療法人社団 尽 徳会 県西在宅ク リニック	(医) 社団尽徳会	古河市関戸1630-8	内科・精神科・心療 内科・アレルギー科 皮膚科	なし
芳香会病院青嵐荘 療護園	社会福祉法人芳香 会	古河市上大野698	内科・小児科・外科 皮膚科	なし
特別養護老人ホー ム 白英荘診療所	(社福) 下総プリン スクラブ	古河市小堤1769-2	内科	なし
平嶋胃腸科外科医 院	(医) 社団勇和会	古河市駒羽根134	内科・消化器科・外 科	なし

みわ整形外科	三輪 清志	古河市上辺見481-1	整形外科・リハビリ科	なし
渡部医院	渡部 正敏	古河市久能504-4	内科・循環器科・小児科	なし
酒井医院	(医) 貞仁会 酒井医院	古河市諸川430	内科・循環器科・小児科・アレルギー科 リハビリ科・放射線科	なし
三和整形外科内科	(医) 社団青樹会	古河市諸川1184-1	内科・整形外科	なし
医療法人 塚原医院	(医) 塚原医院	古河市尾崎3810-3	内科・小児科・産婦人科・皮膚科	なし
なかむら眼科	(医) なかむら眼科	古河市諸川1367-1	眼科	なし
船橋レディースクリニック	(医) 寿恵会	古河市諸川657-3	内科・小児科・産婦人科	なし
特別養護老人ホーム	(社福) 三和みつなみ会	古河市東山田4796-2	整形外科	なし
みわの郷	(医) 孝寿会	古河市大和田1802-1	内科・外科	なし
医療法人 諸川中央病院	(医) 諸川中央病院	古河市諸川811	小児科・外科・皮膚科・泌尿器科・こう門科	なし
芝田クリニック	(医) 佳和会	猿島郡五霞町山王368-1	内科・小児科	なし
境クリニック	中島 勝廣	猿島郡境町長井戸287-1	内科・消化器科・外科・整形外科・こう門科・リハビリ科	なし
ぬまじり医院	(医) 沼尻医院	猿島郡境町長井戸247	内科・消化器科・外科・皮膚科・こう門科	なし
鷺見脳神経外科	鷺見 有史	古河市上片田813	内科・小児科・神経科・美容外科・脳神経外科・こう門科・放射線科・救急科	なし
清水丘診療所	清水丘診療所事務組合	坂東市逆井4112	内科・小児科・歯科	なし
緑野クリニック	医療法人 プラスワン	坂東市沓掛2526-1	内科・小児科・アレルギー科	なし
医療法人慈愛会秋葉産婦人科小児科病院	医療法人慈愛会	古河市東本町2-9-2	小児科・産婦人科 乳腺外科・内分泌内科	なし
猿島厚生病院	医療法人共助会	古河市西牛谷737	内科・精神科・神経内科・歯科	なし
総和中央病院	医療法人仁寿会	古河市駒羽根825-1	内科・心療内科・神経内科・循環器内科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・リハビリ科	なし
友愛記念病院	茨城県民生活共同組合	古河市東牛谷707	内科・小児科・外科 整形外科・形成外科 脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科	なし

			リハビリ科・放射線科・麻酔科・消化器外科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・大腸肛門外科・乳腺外科	
医療法人慈政会小柳病院	医療法人慈政会	古河市稲宮1001	内科・精神科・神経内科・歯科	なし
茨城西南医療センター	茨城県厚生農業協同組合連合会	猿島郡境町2190	内科・精神科・神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリ科・麻酔科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・消化器外科・放射線診断科・病理診断科・救急科・放射線科	なし
医療法人茨城愛心会 古河病院	医療法人茨城愛心会	古河市鴻巣字茶屋下1555	内科・小児科・外科 整形外科・形成外科 脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科 リハビリ科・放射線科・歯科口腔外科・消化器内科・循環器内科・消化器外科・循環器外科	なし
ホスピタル坂東	田中 勝也	坂東市沓掛411	内科・心療内科・精神科・神経内科・外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・リハビリ科・歯科口腔外科・循環器内科・消化器内科・消化器外科	なし

(注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。